

決議文

私達は、本日、高田純先生をお招きし、福島原発事故の実態とその後の現状について学ばせいただきました。

福島原発事故以来、マスコミと民主党政権が一体となった「福島は危ない」「原発は危ない」という偏向報道や世論操作は目に余るものがあります。科学的見地からの真実には目をそむけ、最初から「脱原発ありき」の報道と民主党政権による政策誘導が進められてきたのです。

このことにより、自宅に帰ることのできない人々や風評被害に苦しむ農業、漁業従事者の苦しみは計り知れないものがあります。さらに、電力の大量消費地である大都市部においても、原発の再稼働が抑制されているため、電気の代の高騰等により経営に苦しむ中小零細企業は経営の危機にさらされています。国益全体の観点から考えても、天然ガスをはじめとする化石燃料の輸入増加は、我が国が慢性的貿易赤字国に転落する危険性を内包しています。このままでは、日本全体が「メルトダウン」してしまうのです。以上のような状況に鑑み、私達は以下のことを決議します。

一、 民主党政権時に設立された政府の原子力規制委員会のメンバーの総入れ替えを政府に要求します。

一、 安全性が確認された原発から順次再稼働するよう政府に要求します。

一、 福島県被災地の厳しすぎる安全基準を国際レベルまで緩和し、避難民が一刻も早く自宅に帰れるよう政府に要求します。

一、 日本の原発技術は世界一安全なレベルにあり、政府が世界に対して積極的に輸出振興をはかることにより、発展途上国の経済発展に寄与することを要求します。

以上、右決議する。

平成二十五年三月三十日

日本の安全保障を考える姫路市民の会参加者一同

代表 湊 ゆう子